※令和４年度以降入学生用

学校番号	328

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	三省堂「MY WAY English Communication Ⅰ」 旺文社「英単語ターゲット１９００」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業では、英語の知識を深めるだけではなく、他の教科の内容を英語で学習するという特徴もあります。英語を通して様々な分野に関する興味・関心を高めましょう。
・使用教材は、上記のとおりです。予習として必ず本文を読み、わからない単語は調べてください。復習として、英語を音読して内容を定着させてください。また、英単語の教材で、使える語彙力を定着させましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 ・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 ・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

※令和４年度以降入学生用

３　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson 1 「Proverbs Around the World」 Lesson 2 「Iwago Mitsuaki – An Animal Photographer-」	聞くこと	a: 対話を聞き取るために必要となる、相づちをうつ表現の果たす役割と理由を述べる表現の果たす役割を理解している。 b: クラスの留学生に紹介したいことわざや学校の図書室に飾る写真の選択について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 c: クラスの留学生に紹介したいことわざや学校の図書室に飾る写真の選択について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・言語活動 ・課題提出 ・評価問題 ・定期考査
		読むこと	a: 文章を読み取るために必要となる、現在形や過去形、SVO（O=that 節）、助動詞、受け身を用いた文構造について理解している。 b: 世界各地の特徴的なことわざと岩合光昭さんの生き方や考え方について理解を深めるために、世界各地のことわざについて書かれたレクチャーを読んで、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えている。 c: 世界各地の特徴的なことわざと岩合光昭さんの生き方や考え方について理解を深めるために、世界各地のことわざについて書かれたレクチャーを読んで、書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: クラスの留学生に紹介したいことわざと図書室に飾る写真の選択について、対話を行うために必要となる、相づちをうつ表現の意味や働きを理解している。 b: クラスの留学生に紹介したいことわざと図書室に飾る写真の選択について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 c: クラスの留学生に紹介したいことわざと図書室に飾る写真の選択について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしたりしている。	
		書くこと	a: 御礼を言われた時の返答の表現や野生動物保護のためにできることについて、書いて伝えるために必要となる、基本的な語句や文を理解している。 b: 御礼を言われた時の返答の表現や野生動物保護のためにできることについて、読んで得られた情報などを活用しながら、簡潔に書いて伝えている。 c: 御礼を言われた時の返答の表現や野生動物保護のためにできることについて、読んで得られた情報などを活用しながら、主体的に簡潔に書いて伝えようとしている。	
	期末考査			
	Lesson 3 「Sending Canned Mackerel to Space」	聞くこと	a: 対話を聞き取るために必要となる、 相手の理解を確かめる表現の果たす役割と考えや意見をたずねる表現の果たす役割を理解している。 b: 宇宙で食べたい日本食や留学生に紹介したい日本の物語について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。	・言語活動 ・課題提出 ・評価問題 ・定期考査 ・スピーキングテスト

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 4 「Messages from Winnie-the-Pooh」		c: 宇宙で食べたい日本食と留学生に紹介したい日本の物語について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	
		読むこと	a: 文章を読み取るために必要となる、動名詞、to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法、現在完了形、現在完了進行形、過去完了形を用いた文構造について理解している。 b: 高校生による新しい宇宙食開発について理解と『クマのプーさん』に込められたメッセージについての理解を深めるために、宇宙食開発の経緯について書かれた新聞記事を読んで、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えている。 c: 高校生による新しい宇宙食開発について理解と『クマのプーさん』に込められたメッセージについての理解を深めるために、宇宙食開発の経緯について書かれた新聞記事を読んで、書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を捉えようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 宇宙で食べたい日本食と留学生に紹介したい日本の物語について、話して伝えるために必要となる、to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法を理解している。 b: 宇宙で食べたい日本食と留学生に紹介したい日本の物語を発表するために、宇宙で食べたい日本食について、その食べやすさや味の特徴などを、グループで話し合った内容を基に話して伝えている。 c: 宇宙で食べたい日本食と留学生に紹介したい日本の物語を発表するために、宇宙で食べたい日本食について、その食べやすさや味の特徴などを、グループで話し合った内容を基に話して伝えようとしている。	
		書くこと	a: 食べてみたいインスタントラーメンとムーミンシリーズのキャラクターの好みについて、書いて伝えるために必要となる、to 不定詞の用法を理解している。 b: 食べてみたいインスタントラーメンとムーミンシリーズのキャラクターの好みについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: 食べてみたいインスタントラーメンとムーミンシリーズのキャラクターの好みについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	
	中間考査			
2 学期	Lesson 5 「Endangered Languages」 Lesson 6 「A Wheelchair Traveler」	聞くこと	a: 対話を聞き取るために必要となる、主張する表現の果たす役割と理由を尋ねる表現の果たす役割を理解している。 b: 英語以外に学びたい言語と海外からの旅行者に勧めたい日本の都市について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 c: 英語以外に学びたい言語と海外からの旅行者に勧めたい日本の都市について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・言語活動 ・課題提出 ・評価問題 ・定期考査
		読むこと	a: 文章を読み取るために必要となる、関係代名詞、It is … to 不定詞を用いた文構造と現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is … that ～ を用いた文構造について理解している。 b: 消滅の危機にある世界の言語と三代達也さんの世界旅行の経験について理解を深めるために、言語学者へのインタビューのスクリプトを読んで、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えている。 c: 消滅の危機にある世界の言語三代達也さんの世界旅行の経験について理解を深めるために、言語学者へのインタビューのスクリプトを読んで、書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 英語以外に学びたい言語と海外からの旅行者に勧めたい日本の都市について、対話を行うために必要となる、主張する表現の意味や働きを理解している。 b: 英語以外に学びたい言語と海外からの旅行者に勧めたい日本の都市について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 c: 英語以外に学びたい言語と海外からの旅行者に勧めたい日本の都市について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしたりしている。	
		書くこと	a: よく使う絵文字と「やさしい日本語」で伝えるために大切なことについて、理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。	

※令和４年度以降入学生用

			b: よく使う絵文字と日本語が不自由な人に対しての効果的な言葉違いについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: よく使う絵文字と日本語が不自由な人に対しての効果的な言葉違いについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	
	期末考査			
	Lesson 7 「The Fugees」 Lesson 8 「Avatar Robots」	聞くこと	a: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品について、対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 c: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・言語活動 ・課題提出 ・評価問題 ・定期考査 ・スピーキングテスト
		読むこと	a: 難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯について書かれたレポートや分身ロボットについて書かれた雑誌記事を、読み取る技能を身に付けている。 b: 難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯と吉藤健太郎さんが開発した分身ロボットについて理解を深めるために、難民の子どもたちのサッカーチームについて書かれたレポートを読んで、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えている。 c: 難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯と吉藤健太郎さんが開発した分身ロボットについて理解を深めるために、難民の子どもたちのサッカーチームについて書かれたレポートを読んで、書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を捉えようとしている。	
		話すこと（発表）	a: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品について、その内容を話して伝える技能を身に付けている。 b: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動を選ぶために、紹介したいボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品についてその内容を、グループで話し合った内容を基に話して伝えている。 c: 日本にいる海外からの移住者に対してできるボランティア活動を選ぶために、紹介したいボランティア活動とあったらよいと思う未来の技術や製品について、その内容を、グループで話し合った内容を基に話して伝えようとしている。	
		書くこと	a:「やさしい日本語」で伝えるために大切なことと望ましいロボットの在り方とについて、理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。 b: 日本語が不自由な人に対しての効果的なことば遣いと望ましいロボットの在り方について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: 日本語が不自由な人に対しての効果的なことば遣いと望ましいロボットの在り方について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	
	学年末考査			
３学期	Lesson 9 「Kadono Eiko and Power of Imagination」 Lesson 10 「SDGs – Sustainable Development Goals」	聞くこと	a: 高校卒業後の暮らし方や SDG s に関する問題について、対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 高校卒業後の暮らし方の選択と SDG s に関する様々な問題について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 c: 高校卒業後の暮らし方の選択と SDG s に関する様々な問題について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に聞き取って捉えようとしている。	・言語活動 ・課題提出 ・評価問題 ・定期考査 ・スピーキングテスト
		読むこと	a: 角野栄子さんの作品と想像力の関係についての講演のスクリプトや SDG s に関する様々な問題についてのプレゼンテーションのスクリプトを、読み取る技能を身に付けている。 b: 角野栄子さんの作品と想像力の関係と SDG s に関する様々な問題	

※令和４年度以降入学生用

			について理解を深めるために、角野栄子さんの講演のスクリプトを読んで、書き手の意図を把握し、概要や要点を捉えている。 c: 角野栄子さんの作品と想像力の関係と SDG s に関する様々な問題について理解を深めるために、角野栄子さんの講演のスクリプトを読んで、書き手の意図を把握しようとしたり、概要や要点を捉えようとしている。	
		話すこと（発表）	a: 高校卒業後の暮らし方の選択と SDG s に関する様々な問題について、その利点などを、話して伝える技能を身に付けている。 b: 高校卒業後の暮らし方と SDG s の目標に関連した課題についてそれぞれの利点をまとめて発表するために、選択した暮らし方と取り組むべきことについて、その利点などを、グループ話し合った内容を基に話して伝えている。 c: 高校卒業後の暮らし方と SDG s の目標に関連した課題についてそれぞれの利点をまとめて発表するために、選択した暮らし方と取り組むべきことについて、その利点などを、グループ話し合った内容を基に話して伝えようとしている。	
		書くこと	a: 物語鑑賞の経験と SDG s に関する様々な問題について、理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。 b: 物語によって心を動かされた経験と SDG s に関する様々な問題について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: 物語によって心を動かされた経験と SDG s に関する様々な問題について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度